



発行/社会福祉法人 与謝郡福祉会  
高齢者総合福祉施設 虹ヶ丘

編集責任者/石本 晃一

住 所: 京都府与謝郡与謝野町字岩屋600番地3  
TEL: 0772-43-2011  
E-Mail: nijigaoka@yofuku.or.jp  
URL: http://yofuku.or.jp/nijigaoka/

## 就任のごあいさつ

このたび、平成29年4月1日付けで大谷克則施設長(現やすら苑施設長)の後任として、虹ヶ丘施設長に就任することになりました。

当施設においては介護職員として、またケアマネジャーとして、平成11年の開設当初から仕事をさせて頂いておりました。開設した当初と比べると、少子高齢化や過疎化の進行、また、介護事業所数が大幅に増えたことで、



施設長 石本晃一  
一族の意識も多様化し、高齢者を取り巻く介護の形もすっかりと様変

介護を担うご家族の意識も多様化し、高齢者を取り巻く介護の形もすっかりと様変

わりしてきたように思います。

「ホームのようなまち、まちのようなホーム」という当施設の運営方針を実現していくために、ご利用者一人ひとりの個性やニーズに応じたきめ細やかな介護サービスの充実に努め、また、ご家族や地域の方々との関わりを大切に、当施設が今後も地域福祉の拠点として、その役割を果たしていくことができるように、職員一丸となって取り組んでまいりたいと考えております。

前施設長が築いてきた信頼と実績を損なうことのないように、微力ではありますが、頑張つてまいりますので、皆さまのご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 勇壮・豪華な屋台



お昼前の雷雨に一抹の不安を感じつつも、午後からは好天に恵まれた4月29日。各地域で加悦谷祭りが盛大に行われる中、今年も虹ヶ丘駐車場内で岩屋区の神楽舞を見送っていました。

迫力の中にもどこか愛嬌のある獅子

の顔。目の前

での勇壮な舞いに、歓声や拍手があらちこちから聞こえました。また、神楽舞が終わった後には、



岩屋区の四台の屋台も集合して下さいました。笛や太鼓と「わっしょい!」の元気な掛け声。色とりどりに飾られた華やかな屋台が一同に整列し、その勇壮な姿に癒しと元気をいただいたように思います。今年も一年、皆様、無病息災で過ごせますようお願いしながらお祭りのひと時を味わいました。岩屋区の皆様には、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

## ケアハウス交通教室

4月18日、役場職員の寺村さんに交通教室の講義をお世話になりました。

最近では各自動車メーカーが安全な車づくりに取り組み、また、小さな子供からお年寄りまで交通教室を受けるなど、交通安全に対する意識や取組みの強化によって、交通事故による死者数も昭和40年頃の年間1万7千人から、

昨年では約4000人くらいまで減少しているそうですが、京都府内でも昨年、約60人の方が交通事故によって亡くなられているそうです。なお、与謝野町では、一昨年2人の死亡事故があったから、現在まで死亡事故は起きていないと教えていただきました。

一番事故の多い時間帯は午前中ですが、要因としては買い物や通院・通学等で活動する方が多いためだそうです。また、亡くなられる方は65歳以上の高齢者が半数以上を占め、例えば横断歩道を渡るときも、若い人なら赤になるまでに渡りきることができそうですが、高齢になるにつれ、段々と渡りきることができなくなるなど、老化による要因が考えられるとのこと。



ただ単に数字だけを伝えるのではなく、色々な道具を使って、途中には頭の体操も入れていただきながら、わかりやすくまた楽しく交通事故の防止についての取り組みを教えてくださいました。話の最後には事故に遭わない一番の方法も教えて下さいました。答えは『外出しないこと』だそうです(笑)

## 『思いを込めて』

虹ヶ丘デイでは、ご利用者に季節に応じた様々な作品を作っていたいただいており、事業所の至る所に作成した作品が飾られています。現在はフェルトを使用した鯉のぼり、新聞のカラー広告を利用した切り絵を作成中です。

このようにデイでは、ご利用者の得意なこと、できることを楽しくやりがいを持って取り組んでいただけようお手伝いしています。今年3月には、地域との交流の一つとして、卒業式に使用するコーサージユを石川小学校へプレゼントさせていただきました。型をとるのが得意なご利用者、ハサミを使うのが上手なご利用者、針で縫うのが得意なご利用者と多くのご利用者の皆さまに携わっていただいて、ひとつのコーサージユを完成させました。卒業式でコーサージユをつけられた姿を想像しながら小学校を旅立られる子供たちいろいろな願いや思いを込めて作りました。

卒業式の様子を後日、KYTで拝見し子供たちの凛とした姿にご利用者、職員共に喜びもひと



しおでした。また、来年もこのような取り組みができたらと思っております。

## お花見に出かけました

4月15日、前日の雨も回復し、ふれあいホーム神宮寺では花見遠足に出かけました。神宮寺は虹ヶ丘の一部署ですが、普段は中々、虹ヶ丘や岩屋に訪れることがないため、昼食はお弁当を持って虹ヶ丘へ行きました。

広々としたホールに皆さま驚かれながらも、すぐにお弁当で話題が持ちきりになるくらい美味しくいただきました。昼食後は、岩屋の雲岩公園に花見に行きました。雲岩公園はつつじの名所ですが、数多くの桜の木もあり、手に取れるほど間近で見られました。初めて行かれた方も多く、「こんな近くで桜が見れるんか!」「きれいだなあ」「孫に送りたいで、桜のそばで写真撮って!」と大好評。ゆっくりと桜を眺め、何枚も写真撮影しました。帰りは大宮町や水戸谷、板列神社と、あちこちの桜をめぐるドライブも行い、大満足なご様子でした。



## ヘルパー勉強会より...



ヘルパーでは、毎月職員全員で研修をおこなっています。3月は調理の研修を行いました。その中で「レタスを使った炒め物」と「スープ」を作りました。炒め物はマヨネーズを使うことで玉子がふわふわに仕上がります。スープのレタスは柔らかさの中にもシャキシャキ感があって「レタスはサラダで食べるくらいだけ火を通しておいしい。レタスを見直した」

が皆の感想でした。炒め物にはトマトも入っていて「火を通すと酸味を感じ柔らかくなるのが苦手かな」という感想が出たり、卵を見て「期限切れの卵はいつまで安全に食べられるだろう」という質問も出て調べたり...皆で意見を出しながらの研修でした。また、前回の新聞で紹介された『いちご大福』も作り、とても美味しい『いちご大福』が簡単に出来上がりました。4月には洗髪や洗身・オムツのあて方等を日頃の援助を振り返りながら勉強しました。きめ細やかに丁寧な介助をしていきたいと思っております。お気

づきのことがありましたら遠慮なくお伝えいただければありがたいです。

## 「支援センター」コラム④

### ダニからの感染症に注意!

暖かくなり、山菜取りや農作業・キャンプなど、山や草むらで活動する機会も多くなります。この時期に野山に生息するリケツチア(微生物)やウイルスを保有するダニなどに刺されることにより、「重症熱性血小板減少症候群」「日本紅斑熱」「つつが虫病」等の感染症にかかることがあります。症状に個人差があるため、治療が遅れることで重症化し、最悪死にいたることもありますので注意が必要です。

#### ダニに刺されない予防策は:

- ① 出来るだけ草むらに入らない。
- ② 野山に行く時は肌を露出しない。
- ③ 草の上に乗ったり寝転んだりしない。
- ④ 脱いだ服は不用意に地面に置かない。
- ⑤ DEETという成分を含む虫よけ剤を使用する。
- ⑥ 帰宅後はすぐに入浴し着替える。

※すべてのマダニ、つつが虫が病原体を持ってはいるわけではありませんが、ダニに刺されない注意が必要です。

